



ゆうすい

嘉島西小学校 学校便り

令和5年11月20日
文責：校長 江上 知男



図書室で本探し(5年)

「読書の秋」を迎えています！

様々な団体等が、10月～11月に読書週間・月間など読書推進活動を行うのにちなみ、嘉島西小学校でも11月生活目標は、「本に親しもう」です。時間を見つけては、図書室に足を運んでいる学級や子どもたちの姿があります。

さて、子どもたちの育ちに読書が大切であることは多くの方が理解していると思いますが、「読書がなぜ重要なのか？」と問われると、なかなかうまく答えられませんよね…。

ある本によると、読書の効果は大きく分類すれば、次の2つにまとめられるそうです。

- ①子どもは、大人(特に親)の言葉を聞くことで、言葉の意味がわかるようになり、他人に伝えられるようになるそうです。ただ、会話だけでは使われる言葉の量には限界があります。知識や考えを深めていくためには、「より多くの言葉に出会う必要がある」ため、読書が必要になるそうです。
- ②子どもは、実体験を通して様々なことを身に付けて成長していきます。ただ、子どもは生きてきた年数そのものが短いため、実体験の量には限界があります。知識や考えを深めていくためには、「実体験に近い疑似体験ができる」ことから、読書が有効になるそうです。

もちろん情報入手の手段として、テレビやネット動画などの映像もあります。映像で得る情報は、インパクトが強いので瞬間的には印象に残りますが、実は「眺めている」だけで、「あまり脳を使っていない」そうです。読書では、書いてある言葉や登場人物のセリフや行動、文脈から正しく情報を把握をすることが求められます。「手間も時間もかかるが脳はフル回転」となるため、映像よりも断然読書のほうが実体験に近い感覚を得ることができるそうです。

インターネットの普及で、知識を得ることは簡単になりました。もはや、読書は非効率なのかもしれません。しかし、知識は「経験」になってはじめて身に付きます。嘉島西小の子どもたちが、読書を通して「より多くの言葉」に出会い、「たくさん心を育む疑似体験」をして欲しいと願います。

秋の夜長、「親子読書」なんていかがでしょう。結構楽しいと思いますよ！！

「持久走」頑張っています！

12月2日(土)の持久走大会に向けて、取組の真っ最中です(休校等で取組が遅れましたが…)。体育の時間は各学年で走っていますし、業間は運動委員会が企画して、「ランランタイム」と称して走っています。さて、持久走には、どんな「良さ」があるのでしょうか。あくまで、江上の考えですが…。



ランランタイム

- ①**健康に良い**…持久走は「有酸素運動」なので、血液中に余っている糖分や脂肪を酸素を使って消費します。また、生きるのに大切な心肺機能を強くします。そして、年齢に応じた走り方ができます。
- ②**目標を設定しやすい**…持久走を評価するものとして「タイム」があります。もちろん、友達と比べることもありますが、自己記録の更新を目指して達成感を味わうことができます。
- ③**計画性や我慢する力が育つ**…持久走は短距離走と違って、ペース配分が重要です。完走するための計画・実行が試されます。目標達成には、多少の「がまんすること」が必要です。

持久走でチャレンジする姿に、「頑張れ!」と声をかけたくになります。ご家庭でも応援お願いします。